

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
こんなにもボロボロでいろんなものが崩れているのは知っていたけど、予想以上のものが崩れているのはびっくりしてすごく怖くなりました。また、地震でここまでボロボロになったのには今はきれいになっていろんな建物があるのすごく頑張ろうと思いました。	写真でいろんな建物が崩れて潰れたりしてびっくりしました。また、その写真ですごく地震が嫌になったけどもこの阪神・淡路大震災や他の台風のことなどを色んな人に伝えていきたいです。また、避難するとなったら今日おしえてくださった持ち物などを持ってみんなで助け合って生きていけるようにしていきたいです。また、この地震の歌などを聞いたことがないので聞いて色んな人に伝えてみんなの危機感を強めていきたいです。ありがとうございました。
震災によって亡くなったひとも多くいるし、被害もすごかったんだろうなと痛感しました。	大事なことをたくさん教えてくれてありがとうございます。
震災が起きて街も平地になってしまっていて、震災がどれだけ恐ろしいものかわかりました。でも地震などの自然災害は必ずいつかは起きてしまうものなので、いつ起きても大丈夫なようにしっかり準備しておこうと思いました。	授業をうけて震災はどれだけ恐ろしいものなのか、改めてわかりました。自分は大きな地震などの震災があったことがなく、本当の怖さはわかってないと思いますが、少しでも震災の恐ろしさを考え、知ることが大切だとわかりました。
同じ日本で防ぎようのない事が起こって、またこれ以上のことが起こるかもしれないと思うと怖かった。	時間が足りない中、分かりやすく説明してくれたり、質問に答えてくれてありがとうございました。現場で実際に体験した人から、記者として、被災者としてどう思ったのかを知って、自然災害の恐ろしさをもっと詳しく知ることができました。ありがとうございました。
震災がおきて、街が壊れてしまっていてすごく怖くなりました。私達が住んでいるところではこういった震災はあまりなく、経験がないのですがいつこういうことがおこってもおかしくないんだなと思いました。	少ない時間の中いろいろなことを教えてくださりありがとうございました。今までに被災者の方からお話を聞かせてくださる機会があまりなかったので、三好さんのお話を聞き、阪神淡路大震災の怖さがより詳しくわかりました。いつ震災がおきても冷静に判断していけるようにしていこうと思いました。
たった26年前にこんなことがあったなんて	今回の授業を通して震災だけでなく自然災害などの恐ろしさを後世に伝えていくのはとても大切なことだと思います。
よく知らない災害などが、記入されていたのでよく調べられた。	知らないことがたくさんあったけど地震があったその時にどういう気持ちだったのかが分かって改めて地震が怖いかを学びました。今日はありがとうございました。
地震が起きて様々な物や人一瞬でほぼ失ってしまい、いつどこで起きるか分からない…。地震が起きてしまう前に自分のできることはしたいと思いました。	いつ起こるか分からない地震でこんなにも死者が出るのは怖いしもう起こってほしくなかった
震災が起きて街から、火がでていて車とかも動けなくなったり、まだ生きているのに家が燃えて無くなってしまったりしているのを見て人の命だけじゃなくて生きている人の生活も奪ったんだと思いました。	僕は地震を実際に体験はしてないけど教えてもらって知ったりして教訓にしたりすることができると思うので実際に体験した人の話を聞いたりするのはとても大切だと思います。今日は大切なお話ありがとうございました。
平成だけでもたくさんの災害があって地震はいつ起きてもおかしくないの地震には気をつけたいなと思いました。	たくさんのスライドで説明をしていたりろうかにおいてあるパネルなどで災害の恐ろしさや教訓が伝わりました。ありがとうございました。これからも災害の教訓を忘れず過ごしていきたいです。
どれだけ震災で沢山の人間たちに、大きな影響を与えたか写真やパネルを見てわかった。	阪神・淡路大震災ではたくさんの建物が壊れてしまったりたくさんの方がなくなったりして大変だということがわかったし、もし地震が起きたとき用に家族と話し合うことが大切だなと思いました。それに調べて出てこなかったことだったので良かったです。
絶対倒れなさそうな建物とかでも根元の部分から完全に折れていて地震は大切な人だけでなく思い出や物まで無くしてしまうととてもつらいことだと思います。	すごく学べたし、地震の備えや怖さがどれだけすごいかわかりました。
震災が起こった時は自分の周りがぐちゃぐちゃになっていたけど生き残った人たちが力を合わせて生きていたんだと思った	私は震度6の地震を経験したことはなく「窓ガラスが割れる、地鳴りやロッカーが飛ぶ」そのようなことを聞いてとても驚きました。そしてまた数十年に一度のおおきな災害が起きる可能性があるので「一つ一つの災害から学ぶ」。この三好さんがおっしゃられた言葉を忘れずこれから過ごしていきたいです。今日はありがとうございました。

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
震災が起こった時は自分の周りがぐちゃぐちゃになっていたけど生き残った人たちが力を合わせて生きていたんだと思った	丁寧に説明してくれて質問にもきちんとこたえてくれて嬉しかったです、ありがとうございます。 自分は体験したことがないけど色んなことがたくさん伝わってきました。 良い経験になりました。本当にありがとうございました。
地震が起きたときは全部壊れてしまってたくさんの人が大変な思いをしたと思ったし地震でこんなに大きなものもあっという間に崩れてなくなってしまうんだなと思いました。	地震についてよくわかりました。地震は怖いとわかりました。これからは阪神淡路大震災のことをもっとしりたいと思いました
僕はまだすごく大きい地震は体験してないけど写真や震災展示パネルを見てどれだけ恐ろしいことが、感じました。あと、これを見てしっかり家に防災グッズを備えたいと思いました。過去を生かして未来につなげたいです。	忙しい中日本の災害について教えてくれてありがとうございました。調べてもわからなかった部分があったので、すごく勉強になりました。自分も避難計画を立てたり継続して伝えるということをしたいなと思いました。
自分は大きな災害や天災にあったことないけれど、災害冊子を見て記憶にないだけで一つ2009年の大きな台風にあっという間にお母さんたちに聞いたら、「あなたが小さいときだったから泣いたりして大変だった」と言われました。台風でもここまで被害が出るのだなと思いました。	震災というものはいつくるのかはわからないけれど今にもないうちにもしものことを考えることが今の自分にとって一番しんどいことだと思いました。
地面（断層）がずれている写真を見て、「もし自分の身の回りでそのようなことが起こったら。」と思うと、とてもぞっとしました。自分がそのような災害を経験していない分、ちゃんと災害などに対して、しっかりと対策をしないといけない、ということを改めて実感しました。	少ない時間でも詳しく教えてくださっておかげでたくさん知らないことをしれたので今回良かったなと思いました。
想像していたものよりうえをこえて火災とかも酷かったし家もほとんどなくなってびびりしたし、町が町じゃなかったです。絶望したんだろうなと思いました。何もかもがグチャグチャで今まで当たり前のように見ていた景色がガラッとかわって今までに見たことのない景色になっていて「当たり前がなくなる」というのは本当に辛いんだろうなと思いました。	事前に動画で映像を見ていて窓ガラスがめっちゃくちゃになってしまうというので神戸新聞の本社？の窓ガラスが割れていてこれを見て思ったことは、こんなことが起きて怖い思いもしたんだと思い悲しくなったし、これからの避難のための準備をしようと思いました。
初めて見た写真もあつたりしてより震災の恐ろしさを感じました。なのでこれからはこういう経験があったので自分たちにできることはしっかりしていきたいと思いました。	今回の話はとても貴重なことを聞けてその災害を取材した人の意見を聞いて「命」のことについて改めてよく考えることができました。だからこの事を常に覚えておこうと思います。
今の生活が急変して大規模な地震による災害が来て、死者や行方不明者、負傷者が出てしまうことがいつ起こってもおかしくないの、家族みんなで話し合うことが重要だと思いました。	実際に経験された方の体験談でとても貴重なお話だと思いました。今日話を踏まえて自分が体験してしまったときに少しでも冷静でいられるようにします。
写真で見ても迫力があるので実際に起ったものを間近で見るともっとすごいんだろうなと思いました。写真だからこそすごいなって感じるけれど実際に体験すると怖いものだと感じました。	お話を聞いて、写真などがたくさんあって私知っている神戸の街とはかけ離れていてどの写真でもわかるぐらいのすごい地震だったんだなということが一番感じました。そして、今コロナが広がっているなか避難するということがとても大変だということは知っていたけど、どういう避難があるか、持ち物はどうすればいいかなど、知っておかなければならないことをたくさん知れたいいきいになりました。これからはもっと阪神淡路大震災についてそして自然災害について調べていきたいです。
震災が起きてその地震はどのくらいの被害があったのかということが、わかったのでそれを忘れずに過ごしていきたいと思ったし、他にこのような大きな地震が今どこかで起きるかもしれないので私は、これからどのようにして震災について考えながら過ごしていきたいと私は思いました。	阪神・淡路大震災は多くの犠牲者などがあることは学習で学んだけれど、三好さんの授業を受けて日本の初めての直下型地震だと言うことがわかりました。
震災で壊された街並を見て復興した現在の街のありがたさを知ることができました。	当たり前にある今の生活は永遠ではない。震災が起こると当たり前が当たり前ではなくなる。だからこそ、今震災についてしり、備えることが大切になってくるのだと思った。
震災の細かいことまではよく知らなかったけど震災展示パネルを見たことで詳しいことがわかったので良かったです	関西地域では、あまり地震が来ないと言われていたのに、急に来たから、多くの命がなくなったことを知りました。これからは、家族と一緒に考えていきたいです。
震災が起こって私が知っている神戸の街がどのような状態になっていたのかということがより詳しく知ることができました。私は今までそんなに阪神淡路大震災について考えたり、知っていることは少なかつたけど被害の状況や、亡くなった方がどれほどいたのかということを知って、より地震ということに迫ることができたと思います。	阪神淡路大震災について詳しいことまでわかってよかった。コロナ禍のなかでの避難の方法などもわかってよかった。

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
僕は震災展示パネルを見た人達は多くの方が“自分じゃなくて良かった”と思っていると思います、はじめは自分もそう思っていました、ただ今は違う、この災害の勉強をしてから“災害”と言うものは本当に怖いものだとわかりました、家族との急な別れなどで災害は他人事ではないと言うことがわかりました。	実際の体験話でしかわからない災害の悲惨さがよくわかりました。
たった一度の震災が起きただけでこんなにも被害を受けると知り、しっかり震災のことを知って備えたいと思った。	授業をしてくださってありがたかったです。プリントを見て分かりづらかったものも、授業を受けて私の知らない災害がたくさんあってまた家で調べてみようと思いました。また授業を受けた上で神戸新聞の7日間をみたいと思いました。
いつおきてもおかしくない震災の写真や説明を見て今おきるかもしれないという緊張感が更に高まりました。	色んな事を知ってその災害の被害がどんなものだったのかをたくさんわかった。ありがとうございます
自分ごととしてしっかりと地震に向き合う必要があると思いました。	取材に行っても思った事とか普段経験が出来ない事が出来たし、今まで関西では起きない地震が起きてこんな事があったんだということがわかりました。
テレビ番組で、何時間も特集を作られるということは、全国の一人一人が震災のついて考えないといけないんだなと思いました。	先生方もそうだけ実際に阪神・淡路大震災を経験している人のしゃべる言葉は1つ1つの重みが違って今になれば笑い話にもなるけど実際には怖いってことが経験していてもわかりました。表では笑い話でも心の中の痛み苦しき悲しみ 傷はいつまで立っても消えないんだなと改めて思いました。
あんなに被害を受けた場所がこんなに身近で起こったなんて考えられないです	各地の自然災害が起きたところを見ると、とても悲惨な状況になっていたことがわかりました。 最後の方に避難するときの注意すべきことがまとめてあってとてもわかりやすかったですそれをふまえて避難に備えたいと思いました。
こんなにも建物が崩れていたりとか、ご家族が亡くなったりした人がいてとても怖い思いをしたんだなと思いました。	阪神淡路大震災以外にも東日本大震災など他にもたくさんの災害があってここは地震が来ないと思うのではなくいつ来てもおかしくない状態で生活しないといけないということが分かった。
一瞬の出来事でもすべてが壊れ今まで築いてきたものがほんの数秒でなくなり悲しみとともに消え去り、人さえも亡くなり家は崩壊し壁は崩れ落ち悲劇が増え悲しむ人がその時も今もずっとあり続け、それでも諦めないで生きていたからこそ今の世界があるんだなと思いました。諦めない心はずい。	阪神淡路大震災のように大きな震災があっても新聞を読者に届けようとする意志と新聞記者さんの責任が伝わりこの仕事に誇りを持っていられるのだなと思いました。このようないきな災害、震災でなくなった犠牲者を無駄にしないためにも普段から防災に努めていきたいなと思いました。
一目見ただけでこれはやばいなと思いました 昔は関西には地震は起きないと言われてたので人たちが戸惑ってたんだなと思いました	大きな地震がくるなんて思ってもいないところに大きな地震がきて、とても酷いようにあらされていることが、パネルでわかったし、地震にあった人からはなしをきくことは貴重なことだったので教えてもらったことを大切にしていきたいです。
地震だけでこんなにも建物が壊れてしまうのがよく分かった。	今回授業を受けて日本は絶えず災害に襲われていてそれを幾度も乗り越えてきたんだと思いました。そしてこの授業を道徳などでも活かしたいです。
阪神淡路大震災についてはそこまで詳しく知らなかったけど、国内初の大地震だと初めて知りました。この地震で震災に対する考え方も変わったと思うし、コロナが流行っている今、避難所運営も難しくなるなと思いました。	震災の恐怖と悲しみが伝わってきたし、自分が人を助けられなかった悲しさが伝わってきました。
まだ、私達は体験したことがないような地震がおきていて揺れとか想像ができないけど、写真を見る限りとても被害が大きくて街がすごいことになったんだ、と思いました。	三好さんも悲しい現場に直撃して悲しい気持ちもあったかもしれませんがそのようなことを今回話してくれたので分からなかったことも知ることができました三好さんには悲しいことがあるかもしれないけどこのような事があったということを教えていただいで知ることができました

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
地震というのは地面などで破壊できる威力があって全てをめちゃくちゃにしてしまう怖いものなんだと分かりました。だから地震が来たらしっかりと落ち着いた着きのある行動ができるように心がけたいです。	自然災害はいつくるか分からないので回避のしようがないから怖いと思いました。大きな災害が起こるたびに亡くなる方や行方不明になる方などが出てくるので避難訓練の時には真剣に取り組んで、まずは自分の身は自分で守れるようにしたいと思いました。
地震の恐怖が伝わってきて地震にあった人の顔も写っていたけど、みんな深刻な顔をしていて怖かったらうなと思いました。	今までに起きた災害のことや知らなかったこと、その時の状況や思っていたことなどを詳しく知ることができてよかったです。今できる防災をしたいです。
とてもほんの数秒の間でこれほどまでの被害が出るとは思いませんでした。初めてこの写真を見たときびっくりしました本当にこの被害が数十秒でおこったとは思えませんでした。写真を見る限り沢山の人が命をなくしたのだと思いますそれで色々な人が悲しんだと思います。このようなことは震災を味わった人ならわかると思いますでも僕はどんなものだったのかよく分かりませんがでも震災がどんな被害をもたらすかはよくわかりました。	地震はたった一瞬で建物が壊れて多くの人がなくなって、この授業で地震がどれだけ怖くて悲しいとわかりました。
震災は被害に合った人達にとって忘れられない出来事で、震災を経験しなかった自分達も忘れてはいけない出来事だと思いました。今回学んだことを防災に活かしていきたいです。	阪神淡路大震災のことは覚えているけどほかの地震などはあまり覚えてないので今日の授業で知らないこともいっぱい知れて良かったです。また大きい地震が起きたときにしっかりとしていきたいなと思いました。
震災展示パネルを見て地震はこんなに被害が起きるんだなと思いました。地震はこんなに恐ろしいくて、こんなに一瞬で建物が崩れるんだなと思います。	自分の嫌なことでも記事で写真をとらなければいけないことがわかって改めてこの地震被害の大きさを知りました。なのでこれから地震が来ても対応できるようにしたいです。
一番左にある写真で車が水に沈んでいて人も歩ける状態がなかったのも逃げ遅れても逃げる道がないので逃げるにも逃げ場がなくなっていたので怖いなと思いました。家が何件かずれていて地震などで崩れるの怖いなと思いました。	実際に被害にあった人に話を聞いて、震災はすごく怖くていつ起こるかも分からないからいつも、気を引き締めて、用意を事前にする事。
阪神淡路大震災の被害は想像してたのよりもとても大きかったことがわかりました。そして朝5時だから火事とかも起こっていたこともわかりました。	テレビでうつっている映像で「備えにゴールはない」という言葉が印象に残りました。絶対にないと言われていても高速道路が倒れたりしているので、これから油断せずにしっかりと備えていきたいです。
今の神戸などを見ても想像できないくらいにグチャグチャになっていて、あんな被害が出るかと嫌でも人の命が奪われる言うことがよくわかりました。でも、想像できないということはそれだけ、地域の人達などががんばった証拠だと思いました。	今日、三好さんの話を聞いて、私達が生まれる前もたくさんの自然災害が起きて、その災害でたくさんの人々が、家の下に生き埋めになってしまっただけでまだ行方不明の人がいたり、助けられたけど亡くなってしまったりしていることを知ることが出来ました。これからも、たくさんの自然災害が起きると思うけど、しっかりと備えをして、安全に避難できるようにしたいと思いました。
私はその当時まだ生まれていないけど写真を見てとても大変で怖い地震だったんだなと思いました。建物が崩れていたり街がぐちゃぐちゃになっていたのに多くの人が協力したことできれいな街を取り戻したと思うとすごいなと感動しました。	質問などを聞いていると被害がどれだけあったのかがわかり阪神淡路大震災以外にも被害があったことがわかり他にも振り返ったりしたいです
あのような写真を見ているだけで当時の地震の恐ろしさや苦しさがよく伝わりました。自分自身も体験をしたことは無いけれど、阪神淡路大震災も東淡路大震災も見ていて他人事にはできるものではないと思ったし、発生を抑えることが出来ない地震だからこそ一人でも多くを救うために全員が意識しこれからの対策ももっと進めていこうと思いました。	本当に被災してその地に立って働いてきた人の話を聞くということがいかに大切であるかと言うのがよくわかりました。自分はまだ大きな災害に遭った経験はないけれど、これからの後世にももっともっと地震などの災害について調べて、伝えていくことが必要だと学びました。
白黒写真で当時の状況がよく見えて、もう26年経過したけど震災を僕みたいない子供によっぽど伝えてほしいんだなと思いました。そして、この写真から震災の怖さや恐ろしさを知りました。また、パネルでも大きいパネルで当時の様子が生まれてないけど伝わってきました。	新聞をどうやって発行したのか？や当時の神戸の街の様子を画像で見れたことは貴重な体験になりました。震災だけど、新聞を発行し続けた新聞って読者の為に発行して最新の情報を知ってもらうために発行していることがわかりました。
どれもすごく大きな被害をもたらした大地震なので、写真を見てももちろんすごく怖い印象が伝わりますが、現地に居て実際に経験したひとにはもっと恐ろしくて悲しい感情や写真で見ただけでは伝わらないこともあると思います。そういうことをばくは後世に伝えていきたいと思いました。	阪神淡路大震災で兵庫県は被災したけど、私は体験したことがないので実際に体験した人の話が聞けてよかった。実際に大きな地震が起こったら、正しい行動ができないかもしれないけど、事前に準備をしておくことはできるから、今までの教訓を生かしてもしに備えたいと思った。

震災写真パネルを見た感想	神戸新聞社 三好さんの授業を受けた感想
私は大きな震災を体験したことがないので、家や道が壊れて避難所生活になるのがどのような感じなのかわからなかったけど、写真で見ると想像以上に大きく壊れていて、自分の住んでいるところでこんなことがあったらと思うと恐ろしかった。地震で同じような被害にならないように、もしもの準備をしておきたいと思った。	震災の悲惨さが凄くわかったので自分も地震に注意して周りの人にも声をかけていけばいいなと思いました。
震災当時の状況が鮮明にうつし出されていてリアルに伝わってきました。	自分はまだ地震の怖さが聞いただけだから地震のことを聞けてよかったです
災害であんな事になるんだなとおもいました。もうあんな事にはならないでほしいです。	新聞記者の人はいろいろなことを思って地震のことをカメラで撮影しているんだなと思いました。
その時の人々の顔が少し黒かったので、火事でやけどしたんかなと思いました。服もボロボロで可哀想でした。ご飯をもらいに行っている人の顔が、すごく嬉しそうでした。幸せだったんだなと思いました。	今日は災害について話を聞かせていただきました。自然災害は私が産まれる前も、たくさんあったということがよくわかりました。72時間の壁というのは、もし家の下敷きになって生きている人も、3日後には、亡くなってしまうことが多いんだなと思いました。教わったことを、これからの生活や道徳でも、活用していきます。
震災に時の様子がしっかりと撮られていて、震災の被害の大きさなどがとてもよく伝わりました。	とても具体的でわかりやすかったです。
震災はいつ起こるかわからないので急に来るととても怖いので非常用の持ち出し袋などを用意しておくとか大震災がきても生き埋めなどを回避できれば食料や水があるので安心できるんじゃないかなと思いました。	阪神・淡路大震災が来る前は「関西に地震は来ない」と思われていたけれど、阪神・淡路大震災が来たときに多くの人々はどうか対処していけばいいのかわからず、多くの人を亡くしてしまい、助ける方法さえも見つからず、とても悔しかったんだな。と実感しました。 そこで地震がきても大丈夫なようにいろんなことが行われていて、今の新型コロナウイルスの対処しながら避難できるようにしてありますごいと思いました。
時々テレビなどでも流れているけど本当に瓦礫だらけで、建物に潰されてしまった人はこんなの下敷きになったんだと思いました。周りの人と助け合って救助するのは、道徳などでよく勉強するので、それは自分にもやろうと思えばできると思っていました。でも、あんなたくさんの方の瓦礫から人を助けるのは、絶対に一人じゃ無理だと思いました。私は、周りの人と助け合って人を助けたいと思いました。	何が一番つらかったのかという質問のときに、自分は記者だから人を助けることではなく記録を残す仕事をしてたとおっしゃっていて、それはすごく辛いことだったんだろうなと思いました。目の前で人が埋まっていたり、焼けていく街のことを、記録として残すためとはいえ、何もできないのは、話を聞いただけの自分でも悲しいと思ったので、三好さんはもっと悲しかったんだろうなと思いました。
震災ではたくさんの方の命を奪って、たくさんの方の建物が壊れたんだなと思いました。	重要なことやこれから震災がおきたときに必要なことがよく分かる授業でよかったです。
写真に震災したときに仮設住宅の契約みたいなのに橋にまで並ぶくらいたくさんの方が並ばれていてこの地震はこんなにもたくさんの方の一生懸命建てられた思い出深いものを一瞬で消去したんだと思いきっかりともしもの事が起きたときの事を考えその考えたこと実行してもしもの事に備えていきたいです。	非常に貴重な体験をさせていただきました。そんなに被害があったんだ、と思う災害がたくさんありました。僕らは、つないでもらったバトン、未来へ渡し伝えていきたいです。
少しの間の強い揺れなどで、あんなに街があるなんてとてもこわいなとおもいました。もし災害が起こったときの事を考えて今できることを考えて用意などしておきたいです。	72時間で生かされる確率が下がったりなどを初めて知りました。あとパソコンのパネルを使ってわかりやすく説明して下さったのでとても頭にはいつても着やすかったです。
その当時の大変さなどがよくわかりました。仮設住宅の申込みではたくさんの方が家を失い住むところがないんだということがわかりました。	あのような状況で人々に伝えよう、そういう思いを持って新聞をつくってくれた神戸新聞のかたがすごいと思いました。
画像が大きく、分かりやすかった。震災のことがいろいろ分かった。	日本ではたくさんの方の自然災害が起きていることがわかりました。日々の避難訓練などにまじめにとりくんで一日を大切に生きようと思いました。
パネルに地震がおきたときの画像が貼ってあってこのときどんな事が起きたのかということがわかりやすかったし画像を見る事によって地震の恐ろしさや被害の多さがわかりました。地震はいつ来るかわからないので家族と話したり道を確認したり非常袋をもう一度見ておこうと思いました。	いつもさり気なく過ごしている当たり前が地震などの災害で一瞬でなくなってしまうということがわかりました。 新聞社の方たちは、いろんな方にご災害の状況を分かってもらうために、震災後すぐに写真を取らないといけなくて、それがとても苦しいと言っていました。それをポジティブに考えたら、亡くなった方の分まで生きようと思いました。
すごく恐ろしいなと思いました、たくさんの方が亡くなって、いろんなものを失ってその場にいた方々はすごく辛い悲しい思いをしたんだなと思いました、今がどれだけ幸せか、ということがすごくわかりました。	その時の三好さんの気持ちがよくわかったしいろんな災害があつて改めて怖いと実感しました。写真を撮るのはその人の家族気持ちに悪いと思ったので時と場合を考えたいし備えて行きたいし亡くなられた人のぶんまで行きたいです。
見ただけでその時にそこにいた人が、どれだけの人が苦しんだかがわかりました。	お話を聞いて怖いなと思いました、多分その時の現状など想像していたけど多分想像以上だと思います、その苦しみや辛さ体験した人にしかわからないと思いました
昔にあんな地震があつたなんておもわなくらい街とかがきれいになっていて協力とかがあつたからなんだと思いました。	実際に震災にあつた人の話を聞くのは滅多になくて震災の様子とか震災にあつたときの気持ちを聞けてよかったです。